

公立・公的医療機関の再検証について

令和元年 11 月 12 日
長野県医療推進課

1 経過

- 国は、地域医療構想の推進に向けたさらなる取組として、公立・公的医療機関が担うべき役割に重点化されているか診療実績データ^{*1}で分析。
- 令和元年 9 月 26 日に開催された「地域医療構想に関するワーキンググループ」において、再編統合（ダウンサイジングや機能の転換・分化・連携・集約化等を含む。）についての議論が必要な医療機関^{*2}を公表。

※1 平成 29 年度病床機能報告

平成 29 年 6 月診療分の診療実績

救急車受入件数は、平成 28 年 7 月～平成 29 年 6 月の受入件数

※2 今後の都道府県の確認を経て確定

2 検証対象医療機関の分析方法

公立・公的医療機関が担うべき、①がん・②心疾患・③脳卒中・④救急・⑤小児・⑥周産期・⑦災害・⑧へき地・⑨研修・派遣の 9 領域について、診療実績を分析し、

A：全国の状況と比較し、①～⑨のすべての領域について「診療実績が特に少ない」^{*3}医療機関

B：二次医療圏内の他の医療機関と比較し、①～⑥のすべての領域について「実績が多い医療機関と類似の診療を行っており、かつ距離が近接」している医療機関

を厚生労働省が公表

※3 「診療実績が特に少ない」領域には、実績が全くない領域を含む。

3 長野県内の対象医療機関

【A：「診療実績が特に少ない」のみに該当する医療機関】 2 医療機関

(上小) 鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院

(飯伊) 下伊那赤十字病院

【B：「類似かつ近接」のみに該当する医療機関】 2 医療機関

(松本) 安曇野赤十字病院

平成 29 年度のデータ分析のため、統合前の まつもと医療センター松本病院 及び まつもと医療センター中信松本病院 も一覧に掲載

(北信) 飯山赤十字病院

【A及びBに該当する医療機関】 9 医療機関

(佐久) 川西赤十字病院、佐久穂町立千曲病院、佐久総合病院小海分院

(上小) 東御市民病院、国保依田窪病院

(飯伊) 下伊那厚生病院

(長野) 飯綱町立飯綱病院、信越病院、県立総合リハビリテーションセンター

4 公表後の国の対応

- 令和元年 10 月 4 日に「地域医療確保に関する国と地方の協議の場」を開催（全国知事会・全国市長会・全国町村会の代表者、厚生労働副大臣、総務副大臣などで構成）
上記 3 団体は同日、別添「地域医療構想についての意見」を提出
- 令和元年 10 月 17 日から 10 月 30 日まで地方ブロックごとに「地域医療構想に関する自治体等との意見交換会」を開催（関東信越ブロックは 10 月 29 日に開催）

地域医療構想についての意見

令和元年9月26日、厚生労働省は、公立・公的医療機関等について再編統合等の再検討を求めるとして、全国424の具体的な病院名を公表した。

地域医療構想の推進は必要であり、各自治体立病院も一層の経営改善と機能分化を進めていかなければならないが、地域により公立・公的医療機関等の果たす役割は異なることから、全国一律の基準により分析したデータだけで再編統合を推進することは適切ではなく、地域の住民の不信を招いている。

もとより、少子高齢化が進展する中で、持続可能な医療を提供する体制をつくるため、地方としてももしっかり取り組んでいく所存である。

今後、国は地方の意見を十分に踏まえ、協議を進めるべきだ。

令和元年10月4日

全国知事会社会保障常任委員会委員長 平井 伸治

全国市長会会長 立谷 秀清

全国町村会副会長 椎木 巧